地域の基幹病院として患者様の健康に役立つ情報を！

東京警察病院オリジナル広報誌

T.M.P.Hニュース

2017 Autumn Vol. 20

Tokyo Metropolitan Police Hospital News

CONTENTS

- 脳卒中ケアユニット(SCU)を開設しました
- 最先端結石破砕レーザーQuanta Litho™導入のお知らせ
- 医師コラム「胃がん 予防・早期診断から治療まで」
- インフルエンザの感染を防ぐポイント
- 人間ドック新規オプション検査「PET-CT検査」
- 東京警察病院DMAT(災害派遣医療チーム)
- 区民健康講座のご案内
- 予防医学センターの紹介

脳卒中ケアユニット(SCU)を開設しました

当院では平成29年9月1日に脳卒中治療の専門病棟である脳卒中ケアユニット(Stroke Care Unit-以下SCU)を開設いたしました。中野、杉並、練馬地区の医療圏においては最初の開設でありますので、ご紹介させて頂きます。

脳卒中ケアユニットとは

急性期の脳血管障害(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)の患者さんを受け入れる専用の病棟で、脳卒中の専門知識を持つ医師、看護師、リハビリテーション療法士らの専門チームにより、脳卒中を発症早期から24時間体制で集中的に治療する病棟のことです。

この病棟で治療することにより症状の早期回復、入院期間の短縮、自宅への退院率の増加、さらには重症患者さんの死亡率の低下などが得られ、長期的な日常生活能力や生活の質(QOL)の向上を図れることが明らかになっており、脳卒中治療ガイドラインにおいても強く推奨されている診療体制です。

SCUの体制について

【SCU病床数】

専用病床12床(3対1看護基準適応病棟)

【スタッフ】

脳卒中センター長 兼 脳血管内治療科部長(佐藤博明)、脳神経外科部長(楚良繁雄)始め専任常勤医師9名、専従看護師、専任リハビリテーション療法士、病棟薬剤師、メディカルソーシャルワーカーの多職種医療チーム

【SCU医療機器】

MRI 2台、CT 2台、脳血管撮影装置2台(24時間稼働)

【当院SCUの特徴】

急性期脳卒中に24時間体制で対応可能です。特に発病から4.5時間以内の脳梗塞治療であるt-PA静注療法と発病から8時間以内の急性期脳血管内治療である急性期血栓除去治療の両者の治療を行うことが出来る都内でも数少ない施設のひとつです。くも膜下出血の脳動脈瘤治療に対しては病態に応じて開頭クリッピング術や開頭せずに治療可能な脳血管内治療を積極的に行っています。

脳卒中は後遺症が残ることもあり、退院後もリハビリテーション、介護、在宅診療などの欠かせない分野です。よって退院に当たっては、メディカルソーシャルワーカー(MSW)との連携も重要です。脳卒中急性期の治療をSCUで行い多職種が連携することにより、発症早期から退院まで切れ目のない円滑な脳卒中診療の流れを得ることが可能になります。SCUを開設して脳卒中診療を専門病棟で行うことは、当院が地域医療に貢献することに繋がると確信しております。

患者様の健康のためにスタッフ一同一丸となり業務に当たりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

脳卒中センター長 兼 脳血管内治療科部長
佐藤博明

最先端結石破砕レーザーQuanta Litho™導入のお知らせ

東京警察病院泌尿器科結石治療チーム

尿路結石症は近年増加の一途を辿り、生涯罹患率は男性では7人に1人、女性では15人に1人であり、10年前に比べて60%も増加しています。しかも再発率が高く、3年で30%、5年で45%と報告されています。尿路結石の治療では、1回の治療で完全に結石を除去する事が理想です。

かつて、隆盛を極めた体外衝撃波ESWLは破砕断片が腎盂(じんう)、腎杯内へ散乱するため再発率が高く、最近では内視鏡レーザーによる破砕、抽石が推奨されています。レーザー破砕装置の進歩はめざましく、今回、最新鋭のレーザー破砕装置Quanta Litho ™を導入しました。本装置の特徴は、レーザー波長を自在に調整することで結石を細かく粉塵するDusting modeと結石を切るように大きく破砕する Ablation modeが搭載された事です。これにより出血を最小限に抑え、尿路を損傷することなく、安全・確実に結石を除去する事が可能となりました。他施設に先駆けて導入した Quanta Litho™は今後、内視鏡レーザー破砕の主役になっていくものと思われます。

※詳細は、泌尿器科スタッフにお問い合わせください。

東京警察病院
Tokyo Metropolitan Police Hospital

東京警察病院の頭文字「T」をモチーフに、3つの「意味」を込めてつくられました。

Thoughtful(ソートフル)……患者様の立場に立った医療を目指していきます
Technical(テクニカル)……医療レベルの向上に努めていきます
Trustworthy(トラストウォーシィー)……皆様の信頼に応えていきます

医師コラム

胃がん 予防・早期 診断から治療まで

消化器科 部長
小椋　啓司
［専門領域］
消化器疾患
［主な資格］
日本内科学会 認定医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
日本肝臓学会 専門医
日本消化管学会 胃腸科指導医
日本がん治療認定医
日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医

胃がんは、日本人に多いがんです。最近の統計では、日本で診断されたがんの中で、胃がんは男性で１位、女性で３位（1位 乳がん、2位 大腸がん）となっています。
しかし、胃がんは早期に発見することにより、多くの患者さんを治すことが可能です。

予防について

胃がんを予防するためには塩分の取り過ぎや喫煙を避けて、野菜・果物を含むバランスの良い食事を取ることが重要と考えられています。しかし近年、ヘリコバクターピロリ菌の持続的な感染による慢性胃炎が胃がん発生の最大の原因であることが明らかになりました。さらには、内服薬でピロリ菌を除菌することにより、胃がんの発生率が２分の１から３分の１に下がる可能性も示されています。ただし、残念ながらすべての胃がんを予防できるわけではありません。 除菌治療後も定期的な胃の検診を受けることが望まれます。ピロリ菌除菌と除菌後の内視鏡による定期検査が胃がんの予防、そして早期発見につながると考えております。

ピロリ菌の除菌後について

ピロリ菌を除菌し、定期検診をうけていても胃がんと診断された場合でも、定期検査により早期胃がんの段階で発見することができれば、外科手術などの治療によって、ほとんどの患者さんのがんを治すことが可能です。さらに、ごく早期に発見できた場合、内視鏡治療（内視鏡的切開隔離術）で治せる胃がんもあります。

近年では、治療技術の進歩や治療器具の開発により、従来は胃切除が必要だったがんの中にも内視鏡で取れるものが増えています。がんの深さ、がん細胞の悪性度などの条件が揃うことが必要ですが、お腹を切らずに胃がんを治すことができるようになってきました。内視鏡治療では、より短い治療期間、胃の機能温存、社会復帰が容易などの多くの利点があります。

当院消化器科ではピロリ菌診断・除菌治療から、胃がんの早期診断、内視鏡治療まで行っています。外科手術が必要な場合も円滑に治療に進めるように外科と連携をとっています。胃炎やピロリ菌感染の診断・治療を希望される方、胃がんの検査を受けたい方、胃がんと診断され治療を希望される方、受診をお待ちしています。

インフルエンザの感染を防ぐポイント

＊インフルエンザとは？

インフルエンザは、インフルエンザウイルスが体内に入り込むことによって、高熱やのどの痛み、関節痛などの症状を引き起こす感染症です。インフルエンザに罹って軽症で回復する人もいますが、肺炎などを併発して重症化してしまう人もいます。

＊インフルエンザの感染経路は？

インフルエンザウイルスの感染経路は、飛沫感染と接触感染があります。

インフルエンザは、インフルエンザウィルスに感染している人の咳やくしゃみ、会話時に空気中に拡散されたウイルスを吸入することで感染します（飛沫感染）。また、ドアノブなどの環境表面についたインフルエンザウイルスを触り、鼻や口の粘膜などを通して感染します（接触感染）。

＊インフルエンザに罹らないために！

❶しっかり手を洗いましょう。または、手を消毒しましょう。
❷日頃から健康管理に気をつけましょう。免疫力が弱っていると感染しやすくなります。日頃から十分な睡眠とバランスの取れた食事を心がけましょう。
❸予防接種について
ワクチン接種をしたからといって100%罹らないということはありませんが、ワクチンはインフルエンザ発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぐ効果があります。
❹適度な湿度を保つことも効果的です。

＊インフルエンザかな？と思ったら

❶早めに医療機関を受診しましょう。
❷睡眠を十分にとるなど安静にしましょう。
❸薬は医師の指示に従って正しく服用しましょう。
❹咳エチケットを心がけましょう。
- くしゃみや咳が出ている間はマスクを着用しましょう。
- マスクの隙間がないよう鼻と口の両方を覆い正しく着用しましょう。
- くしゃみや咳が出るときは、周りにかからないよう顔をそむけ、ティッシュなどで口を覆いましょう。
- 使用したマスクやティッシュなどは、ごみ箱に捨てましょう。
- くしゃみや咳などを押さえた手からドアノブ等にウイルスを付けないよう、こまめに手を洗いましょう。

❺人混みへの外出を控えましょう。

【感染経路】

人間ドック・新規オプション検査

【 PET-CT検査について 】
全身の『がん』をチェック！

料金　162,000円　（税込）

がん細胞がブドウ糖を多く取り込む性質を利用して、ブドウ糖に似た放射性薬剤（18F-FDG）を体内に投与し、薬剤の集まり具合を見ることによって、全身のがん細胞を一度に調べることができます。

検査の流れ

- 受付（基本検査終了後）
- 注射（18F−FDG）
- 安静　約９０分
- 撮影　約１５分
- 休息　約６０分

※上記金額には、ドック基本検査料金（身体測定・血液・尿・眼科・聴力・呼吸機能・心電図・腹部超音波・胸部Ｘ線・胃バリウム検査等）54,000円を含みます。原則として、２日間のご来院が必要です。ドック基本検査とＰＥＴ-ＣＴ検査の同日受診をご希望の方はご相談ください。

お申込み・お問合せ
予防医学センター：☎ 03-5343-5750（直通）
予約受付時間：月曜日～土曜日 10:00～16:30
（日曜日・祝日・年末年始を除く）

東京警察病院DMAT

平成29年7月29日に、南海トラフ（※1）地震を想定した大規模地震時医療活動訓練に参加しました。全国のDMAT351チーム1,706名が陸路・空路により被災地域（三重県、大阪府、兵庫県、和歌山県）に参集し、病院支援及び医療搬送等の実働訓練を実施しました。訓練は厚生労働省からの派遣要請により、医師1名、看護師2名、調整員2名の計5名でチームを編成。

当院に与えられた指令は南紀白浜空港（和歌山県）に民間航空機で参集し、そこでの指示を仰ぐようにというものでした。現地活動拠点本部から南紀白浜空港SCU（※2）での医療活動の指示を受け、ドクターヘリで搬送された患者の診療に加え、自衛隊機C130で広域搬送（※3）するための航空医学的追加処置を行いました。

※1 南海トラフ：四国南部～富士川河口付近に到達する大規模な地震発生帯のこと。同地震帯における地震被害は、政府の試算している最悪のケースでM9.1、死者数32万人と予想されている。
※2 SCU：航空搬送臨時医療拠点（Staging Care Unit）
※3 広域搬送：緊急治療を要する傷病者を被災地域内から被災地域外に搬送し高度な医療の提供を行なうこと。

区民健康講座のご案内

地域の皆様を対象に医療の様々な分野と知識について
当院の医師がわかりやすく解説する健康講座を開催しています。

第89回 11月18日(土)10:30～11:30

テーマ **動脈の話**
〈閉塞性動脈硬化症、腹部大動脈瘤について〉

外科 部長　北川　剛

第90回 12月9日(土)10:30～11:30

テーマ **胃がん**
～予防から治療まで～

消化器科 部長　小椋 啓司

第91回 1月20日(土)10:30～11:30

テーマ **未定**

整形外科 部長　原口 直樹

講演後は、皆様からのご質問も承ります。
たくさんの方のご参加を心よりお待ちしております。

受講料 無料

◆場　　所：東京警察病院　9階　大会議室
◆申　　込：経営企画課へお申し込み下さい。
①電 話：TEL 03-5343-5611(内線14552)
受付時間:8:30～17:00 (日曜日・祝日・年末年始を除く)
②FAX：ホームページよりFAX用紙を印刷頂き送信して下さい。
FAX 03-5343-5612

※電話・FAX番号をお確かめのうえ、お間違えのないようお願いいたします
＊各回とも定員(60名)になり次第、締め切りとさせて頂きます
＊当日、お車の方は病院の駐車場をご利用下さい(30分/100円)

参加者の声 ●次回の講座が楽しみ　●様々なテーマを開催してほしい　●初めて知った内容があり、有意義だった　●専門医の話が聞けて良かった ●医療技術の進歩が分かり、希望が持てた　●説明が丁寧だった

過去に開催されたテーマ ●こわい頭痛とこわくない頭痛のお話 ●代々伝わる白癬(水虫)何故治さないのか？ 何故蔓延するのか？ どうしたら治せるのか？　●人工関節とリハビリテーション　●傷を早くきれいに治すには？

※テーマ未定につきましては、決定次第、当院のホームページ、院内掲示板等でご案内いたします。

予防医学センターの紹介

病気の早期発見と予防のため、充実した医療機器と経験豊富なスタッフによる高度な検査を提供いたします。また、病院併設型ドック機能によるフォローアップ体制が充実しています。

基本コースの流れ（所要時間約4時間30分）

受付(8:00) → 身体測定 → 血液・尿検査 → 血圧・脈拍測定 → 眼科検査 → 聴力検査 → 呼吸機能検査 → 心電図検査 → 腹部超音波検査 → 診察 → 胸部X線検査 → 上部消化管検査 → 結果説明 終了(およそ12:30)

オプション検査(25項目)
(基本コースを受診し、事前にご希望された方)

※検査の順序は、状況により前後します。

コース料金

基本コース　54,000円(税込み)

＊その他、PET-CT検査等のオプションを多数ご用意しております。
詳細は予防医学センターまでお問い合わせください。

ご予約・お問合せ先
予防医学センター(9階)
受付時間／月曜日～土曜日　10:00～16:30
電話番号／03-5343-5750(直通)

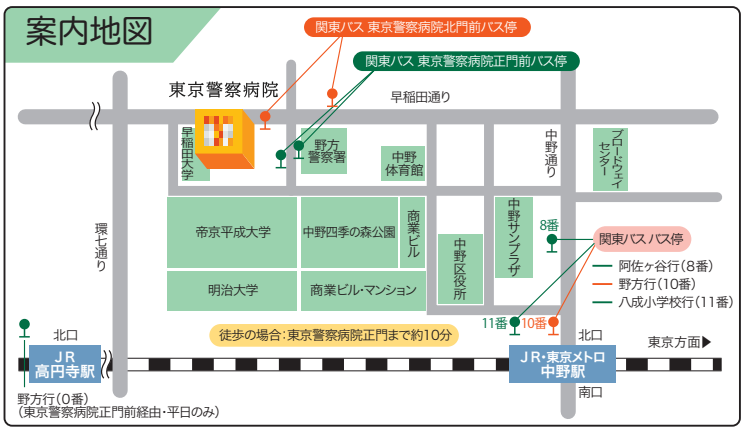
診療のご案内

受付時間
月曜日～土曜日　午前　8:00～11:30
午後 12:30～16:00
■ 自動再診受付機 稼働時間……7:30～16:00
■ 自動精算機 稼働時間……8:30～17:00
※防災センター自動精算機：24時間稼働
■ 休診日：日曜日・祝日・年末年始(12/29～/1/3)

レストラン「憩」
9F
営業時間：7:30～18:00

ナチュラル・ローソン
1F　ATMあり
営業時間：6:00～21:00

案内地図



P 屋外駐車場 119台 一般料金：200円/30分 受診者料金：100円/30分

理念

私たちは、医療の質の向上と患者さまの満足を目指し、日夜努力いたします

基本方針

- 私たちは、患者さまの権利と意志を尊重し患者さまの立場に立った医療を実践します
- 私たちは、常に医療モラルと医療レベルの向上に努め、良質で信頼される医療を提供します
- 私たちは、地域の皆さまの信頼のもと、地域医療の発展に貢献します
- 私たちは、医療を通じて職域をサポートし社会の安全に寄与します
- 私たちは、患者さまが安心して療養に専念していただけるよう、健全な経営を推進します

患者さまの権利と責務

- **基本的権利**
  良質で安全な医療を、等しく受けることができます
- **情報を得る権利**
  十分な説明と情報提供を受けることができます
- **自己決定と選択自由の権利**
  自己の意志に基づき、治療を選択すること、あるいは拒むことができます
- **情報保護の権利**
  個人の医療情報ならびにプライバシーは、保護されます
- **責任と義務**
  他の患者さまの診療、ならびに医療従事者の業務を妨げるような行為は、慎んでいただきます

〒164-8541 東京都中野区中野4丁目22番1号　電話番号：03-5343-5611(代表)
発　　行：東京警察病院 経営企画課
編集制作：有限会社タイム商品研究所